平成３１年度　猪名川町立白金小学校
学　力　向　上　プ　ラ　ン

平成３１年度の「学力向上プラン」を以下のとおり定め、全校児童の学力向上に積極的に取り組みます。

１　学力向上にかかる本校の基本的な考え

学校教育目標を「『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』をもった子どもを育む教育の推進」と定め、教員自身が「認める」「ほめる」「励ます」の基本姿勢を持ちながら、「学習意欲の向上と基礎・基本の徹底」「豊かな心の育成と健やかな体づくり」「道徳的実践力の育成」に努めます。

学力向上を図るためには、その土台となる基礎的・基本的な知識と技能を確実に定着させていく必要があります。教員自らが日々研鑽を重ね、子どもたちにとって「よくわかる授業」「子どもたちを引きつける魅力ある授業」を確実に実践します。

また、子どもたち一人一人に将来の夢や目標を持たせるとともに、その実現に向けて「自ら学び自ら考える力を高める学習」を推進するため、以下の方策に取り組んでまいります。

２　学力向上の具体的な方策

（１）基本的な生活習慣の確立

各家庭と連携して、学びの基礎となる基本的な生活習慣を確立します。

○健康的な生活リズムと食習慣（早寝・早起き・朝ご飯）
○わすれものゼロの習慣（連絡帳の活用の徹底）
○毎日の家庭学習の習慣（毎日の宿題＋「家庭学習のてびき」）

（２）授業の進め方の統一

１年生から６年生まで、すべての学級担任が本時のめあてを明確にして授業を進める。

○本時のめあてを板書し、ノートに書かせる。
○算数のノートはマスノートを使用し、数の位そろえを確実にする。
○児童相互の学び合い、教え合い、意見交換を効果的に取り入れ、児童が主体的に取り組む学習を展開する。
○本時のふり返り（おさらい・まとめ）を必ずおこなう。
　重要事項は板書等にまとめ、ノートに書かせる。

（３）知識・技能などの基礎・基本の確実な定着

①ＩＣＴ機器を積極的に活用する。
○電子黒板の活用によって視覚支援の充実した授業を展開する。
○児童相互の学び合いを効果的に進めるため、タブレットを活用する。
○児童のＩＣＴ機器活用力が向上するよう指導する。

②漢字や計算などの学習を繰り返し実施する。
○小テストを繰り返し実施し、定着度を確認しながら指導する。
○確実に習得できるように繰り返し指導する。

③コンパス、定規、分度器、三角定規等の活用力を確実に身につけさせる。
○定規で正しく長さを測ることができる。
○定規で必要な長さの直線を引くことができる。
○三角定規を２つ使って直角を描くことができる。
○分度器で正しく角度を計測することができる。
○コンパスで円を描くことができる。
○コンパスと定規で二等辺三角形や正三角形を描くことができる。
○コンパスと定規で平行四辺形を描くことができる。
○コンパスと定規で垂直に交わる直線を描くことができる。
○定規、分度器、コンパス等を使って正多角形を描くことができる。

④実験や観察は児童一人一人が確実に取り組む工夫と時間の確保に努める。
○グループ実験は「実験に参加していない」「実験の様子を見ていない」児童が無いように十分留意し、個人の活動を徹底する。
○観察に際しては、「何を」「どのように」観察するのかを、具体例をあげながら事前指導をおこなってから取り組ませる。
○教材・教具はできるだけ児童数を確保するよう努める。

⑤覚えさせる必要がある事柄は確実に覚えるまで取り組ませる。
○図形の面積の求め方、立体の体積の求め方、地図記号、都道府県名と県庁所在地など、覚えさせる必要がある事柄は根気強く指導する。覚えても覚えなくてもどちらでもかまわないというような雰囲気をクラスに持ち込まない。

（４）読書活動の充実

本好きの児童の育成に努め、思考力、判断力、表現力、活用力の基礎となる「ことばの力」を伸ばす。

①毎朝１０分間の朝読書の実施
②「読書マラソン」の積極実施（学年別の「読んでみよう３０冊」）
③毎学期実施する読書週間の機会には教員や図書ボランティアによる読み聞かせをおこなうなど、児童が読書活動に積極的に取り組む環境づくりをより一層進める。
④前年度に比べて図書貸出冊数の１０％増を図る。